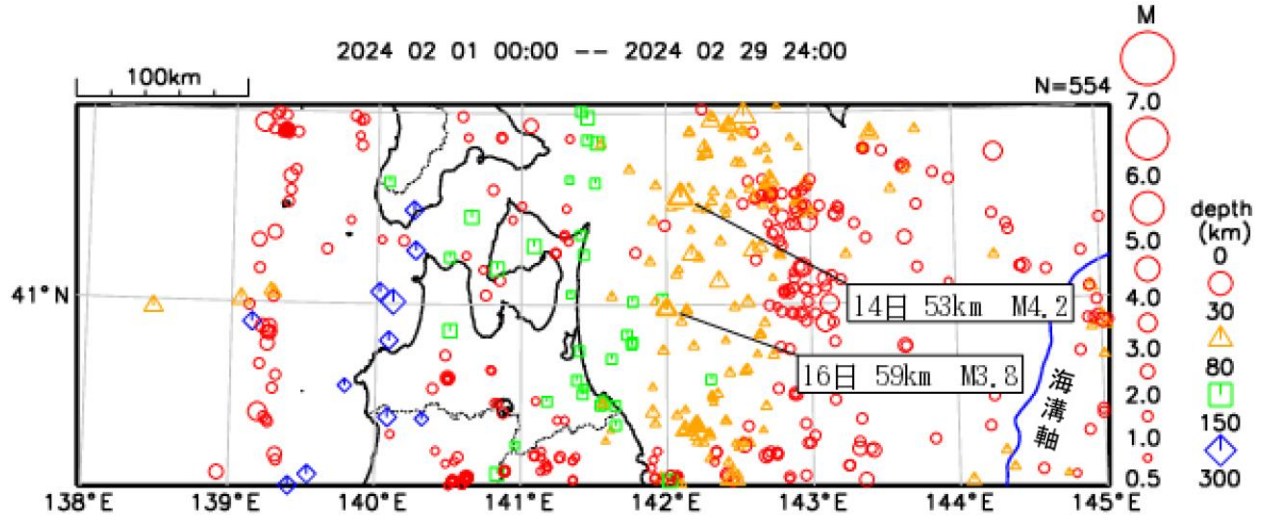


青森県月間地震概況

2024年2月

青森地方気象台

震央分布図



震央：震源（地下の岩盤破壊が最初に始まった点）の真上に向かって地表に投影した点
M（マグニチュード）：地震の規模

吹き出しをつけた地震は概況で取り上げたもの。

【2月の地震概況】

この期間、青森県とその周辺を震源とする地震の回数は554回、県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は11回であった。

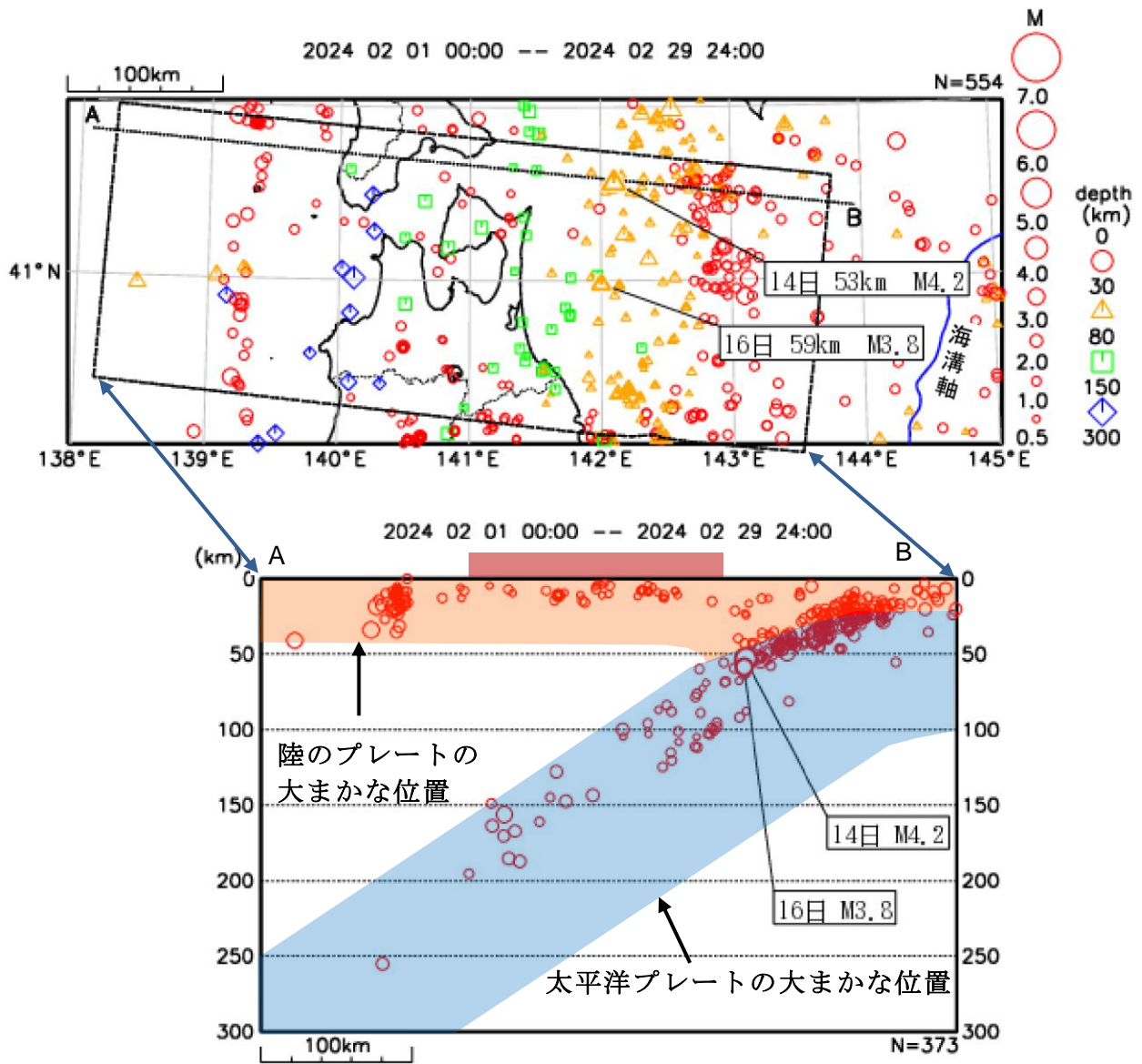
14日17時11分に青森県東方沖の深さ53kmでM4.2の地震が発生し、青森県で震度2～1を観測した。県内では、東通村で震度2を観測したほか、階上町で震度1を観測した。

16日9時43分に青森県東方沖の深さ59kmでM3.8の地震が発生し、青森県および岩手県で震度2～1を観測した。県内では、八戸市で震度2を観測したほか、五戸町、南部町、階上町、東通村で震度1を観測した。

各地の震度の詳細については「青森県で震度1以上を観測した地震の表」を参照。

地震の震源要素及び震度データは、再調査により変更することがある。

断面図（震央分布図内の破線領域内のA点からB点の断面における震源の深さ）



※太平洋プレート及び陸のプレートの位置は、地震発生状況を考慮して描いた大まかなものである。

※ は陸地の大まかな位置を示している。

※陸地から離れた海域（概ね陸地から200km以遠）ほど、震源の深さに関する精度は良くない。なお、沖合の地震の震源は、実際はより浅いところのものが多いと考えられる。

青森県で震度 1 以上を観測した地震の表

※今後の精査により、震源や震度のデータが追加されることがある。

期間 2024年2月1日～2024年2月29日

発震時	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
各地の震度					
2024年02月06日14時36分	青森県津軽南部	40° 36.9' N	140° 29.7' E	11km	M2.2
青森県	震度 1 : 弘前市賀田*				
2024年02月07日16時25分	岩手県沖	39° 14.7' N	142° 24.4' E	31km	M4.2
青森県	震度 1 : 八戸市湊町 八戸市内丸* 八戸市南郷* 東北町上北南* 五戸町古館 青森南部町苫米地*				
2024年02月14日17時11分	青森県東方沖	41° 33.7' N	142° 06.0' E	53km	M4.2
青森県	震度 2 : 東通村砂子又沢内* 震度 1 : 階上町道仏* 東通村砂子又蒲谷地				
2024年02月15日02時25分	岩手県内陸北部	39° 42.2' N	141° 15.2' E	85km	M4.1
青森県	震度 2 : 八戸市湊町 八戸市南郷* 震度 1 : 八戸市島守 八戸市内丸* 七戸町森ノ上* 六戸町犬落瀬* 三戸町在府小路町* 五戸町古館 青森南部町苫米地* 青森南部町平* 階上町道仏*				
2024年02月16日09時43分	青森県東方沖	40° 58.6' N	142° 00.1' E	59km	M3.8
青森県	震度 2 : 八戸市湊町 八戸市内丸* 震度 1 : 五戸町古館 五戸町倉石中市* 青森南部町苫米地* 階上町道仏* 東通村白糠*				
2024年02月17日20時47分	岩手県沖	40° 05.6' N	142° 26.6' E	38km	M4.5
青森県	震度 2 : 八戸市湊町 八戸市内丸* 八戸市南郷* 三沢市桜町* 野辺地町田狭沢* 五戸町古館 青森南部町苫米地* 震度 1 : 青森市花園 外ヶ浜町蟹田* 八戸市島守 十和田市西二番町* 十和田市西十二番町* 十和田市奥瀬* 七戸町森ノ上* 七戸町七戸* 六戸町犬落瀬* 横浜町林ノ脇* 東北町上北南* 東北町塔ノ沢山* 六ヶ所村尾駸 三戸町在府小路町* 五戸町倉石中市* 田子町田子* 青森南部町沖田面* 青森南部町平* 階上町道仏* おいらせ町中下田* おいらせ町上明堂* むつ市金曲 むつ市大畑町中島* むつ市川内町* 東通村砂子又蒲谷地 東通村砂子又沢内* 佐井村長後*				
2024年02月21日20時21分	岩手県沖	40° 22.1' N	142° 12.0' E	46km	M3.9
青森県	震度 1 : 八戸市湊町 八戸市内丸* 八戸市南郷* 青森南部町苫米地* 階上町道仏*				
2024年02月21日20時28分	岩手県沖	40° 21.9' N	142° 12.4' E	46km	M3.7
青森県	震度 1 : 八戸市湊町 八戸市内丸* 青森南部町苫米地*				
2024年02月24日19時17分	三陸沖	39° 32.7' N	143° 33.0' E	13km	M5.2
青森県	震度 1 : 八戸市南郷* 七戸町森ノ上* 東北町上北南* 五戸町古館 青森南部町苫米地* 階上町道仏*				
2024年02月26日08時44分	岩手県沿岸北部	39° 45.5' N	141° 50.5' E	58km	M3.7
青森県	震度 1 : 八戸市内丸* 青森南部町苫米地*				
2024年02月28日22時43分	浦河沖	41° 59.2' N	142° 32.6' E	67km	M4.5
青森県	震度 1 : 八戸市南郷* 七戸町森ノ上* 階上町道仏* むつ市金曲 むつ市大畑町中島* 東通村砂子又蒲谷地 東通村砂子又沢内*				

(注) 地震の震源要素等は、再調査により変更することがある。

各地の震度は青森県のみを示し、*は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点である。

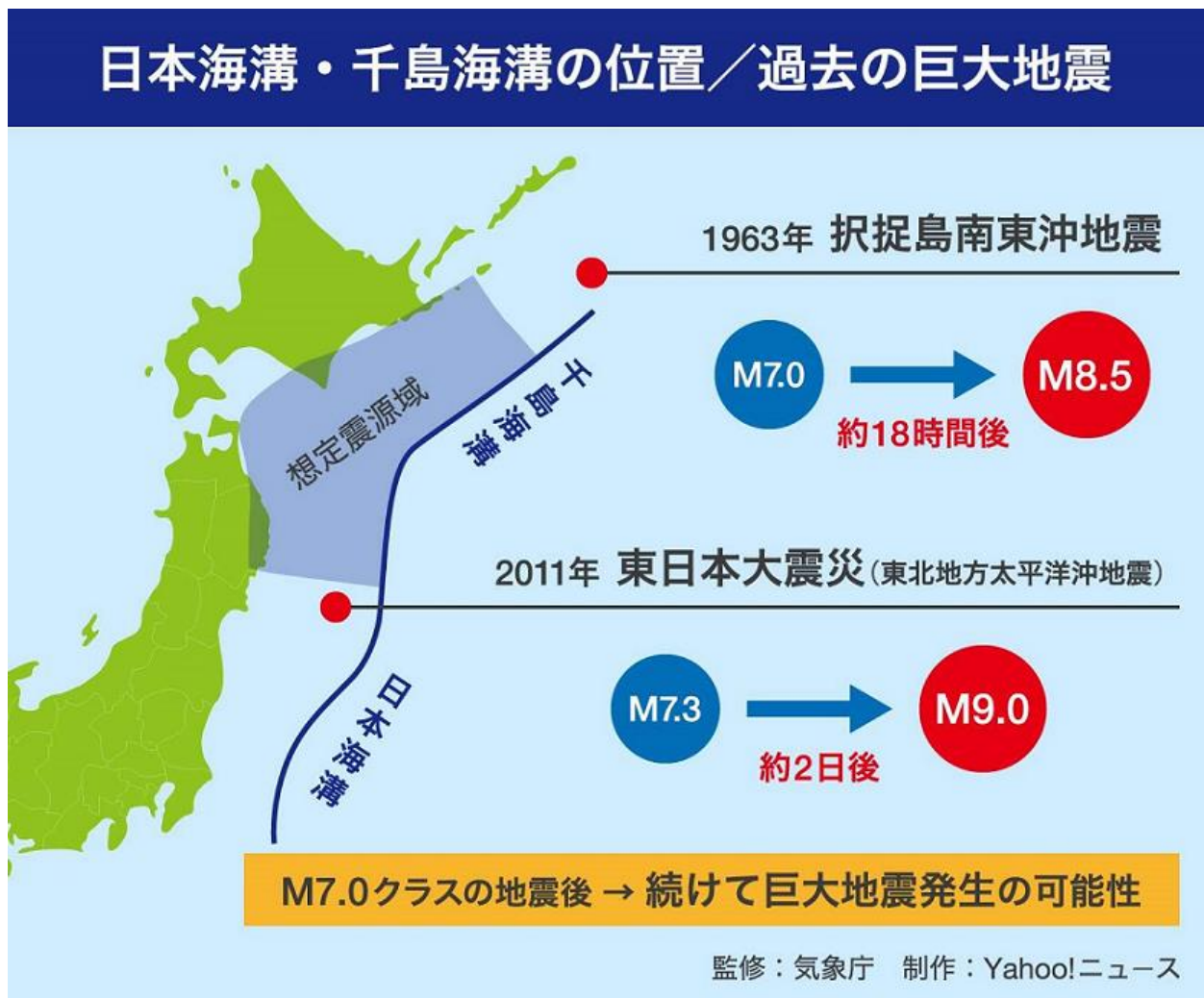
本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人

海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

北海道・三陸沖後発地震注意情報

北海道・三陸沖後発地震注意情報とは

東北地方から北海道地方の太平洋沖に位置する日本海溝・千島海溝沿いの領域では、最新の調査研究により、「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」のようなM9クラスの地震が数百年間隔で繰り返し発生してきた可能性が示唆されています。また、この領域ではM7クラスの地震が発生した後に、さらに大きな地震が発生した事例が確認されています（下図）。下の図にある想定震源域では、北海道・三陸沖では、M9クラスの地震発生の切迫性が高まっていると言われていることから、気象庁は、この領域でM7以上の地震が発生した場合に、「北海道・三陸沖後発地震注意情報」を発表して、過去の事例と同じように続いて発生する可能性がある大きな地震（後発地震）への備えを呼びかけています。



北海道・三陸沖の巨大地震で想定される被害は？

内閣府の中央防災会議では、日本海溝・千島海溝沿いで想定される最大クラスの巨大地震による強い揺れや津波について検討し、発生する季節や時間帯、事前対策の有無など様々な条件下での被害想定を行いました。その結果、**最悪の条件**（真冬の深夜に発生）では、**最大死者数が約19万9000人に上る**と想定されました。一方で、**事前の備えと迅速な避難により死者が8割減る**結果も得られています。

日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震 被害想定



- 最大津波高 約30m
- 最大死者約19万9000人
- 低体温症で死亡のリスク

防災対策で死者は8割減らせる (取り組み事例)



津波から迅速な避難



津波避難ビル等を活用



寒さへの備えも万全に

監修：気象庁 制作：Yahoo!ニュース

情報が発表されたときは何をすればよい？

この情報が発表された場合は、M7クラスの地震発生から**1週間程度、平時よりも巨大地震の発生に注意し、地震への備えを徹底しましょう**。具体的には次ページの図にあるように、家具の固定や安全な避難場所・避難経路の確認などの、日ごろからの**地震への備えの再確認**に加え、揺れを感じたり、津波警報が発表されたりした際に、**直ちに津波から避難できるように準備**を行ってください。

発表後にとるべき防災対応

発災時にすぐ避難できる準備

すぐに逃げ出せる 態勢での就寝

枕元に
靴などを
置いて
寝る



非常持出品の 常時携帯



緊急情報の 取得手段の確保

インター
ネット



ラジオ

身の安全の確保

崩れやすい
ブロック塀など
に近づかない



日頃からの備えの再確認



- ✓ 家具の固定
- ✓ 非常用持ち出し袋の準備
- ✓ 水や食料の備蓄
- ✓ 避難場所・経路の確認
- ✓ 感震ブレーカーの設置
- ✓ 建物の耐震化

監修:気象庁 制作:Yahoo!ニュース

日頃からの備えが重要です

実際に後発地震が発生する確率は、世界の事例を踏まえると100回に1回程度で、極めて不確実性が高く、それに応じた防災対応は大変難しいという背景があります。しかし、ひとたび巨大地震が発生すると、その被害は甚大なものとなります。もし、情報発表時に後発地震が発生しなかった場合でも、高まった防災意識の維持や防災訓練への参加などを行うことで次の災害時の命を守る行動へとつなげていきましょう。

また、大小様々な規模の地震が日常的に発生している中で、巨大地震は突然発生します。そのため、日頃から地震への備え（事前防災対策）を徹底しましょう。その上で、「北海道・三陸沖後発地震注意情報」発表時には、過去に後発地震として巨大地震が発生したことを意識することでより一層防災意識を高め、地震への備えを再確認するようにしましょう。

青森地方気象台ホームページ 北海道・三陸沖後発地震注意情報とは？

<https://www.data.jma.go.jp/aomori/earthquake/kouhatujishin.html>